

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月20日

計画の名称	地域の暮らしを支え快適で活力ある徳島県の港づくり（重点）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	徳島県												
計画の目標	港湾施設の整備により、物流機能を強化・効率化させ、地域産業の活性化や複合一貫輸送の促進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,100	A	1,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	港湾・産業団地・高速道路間のアクセス・安全性・周辺環境を向上させ、複合一貫輸送ターミナルでの取扱貨物量の増加を図る。			
	港湾・産業団地・高速道路間のアクセス・安全性・周辺環境を向上させ、複合一貫輸送ターミナルでの取扱貨物量の増加を図る。	2306千ft	2377千ft	2411千ft
	複合一貫輸送ターミナルでの取扱貨物量の増加			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	徳島県	直接	徳島県	重要	建設	臨港道路の整備	延長L=2,260m	徳島小松島港・ 沖洲地区						1,100	-	未策定
											小計						1,100		
											合計						1,100		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 徳島県公共事業評価委員会	事後評価の実施時期 令和5年11月
	公表の方法 徳島県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・臨港道路の整備を実施した結果、マリンピア沖洲産業団地や複合一貫輸送ターミナルへのアクセスを向上させることができた（走行時間短縮） ・沖洲（外）地区への効率的・広域的な集荷が可能となり、港湾物流機能が強化、取扱量の増加を達成（2411千ft 2669千ft）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンピア沖洲からの避難ルートの強化 ・観光客の利便性向上 ・マリンピア沖洲立地企業への通勤による周辺市街地の慢性的な交通渋滞の緩和
特記事項（今後の方針等）	
現在1520mまで供用済みであり、残りの740mについて工事の完了・供用を行う	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	地域の暮らしを支え快適で活力ある徳島県の港づくり（重点）		交付対象	徳島県
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）			

	基幹事業
	関連事業
	促進事業



A02-001 徳島小松島港(沖洲) 臨港道路

地図出典：国土地理院

(参考資料)

計画の名称	地域の暮らしを支え快適で活力ある徳島県の港づくり（重点）	交付対象	徳島県
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）		

■ 主要な整備内容



地図出典: 国土地理院